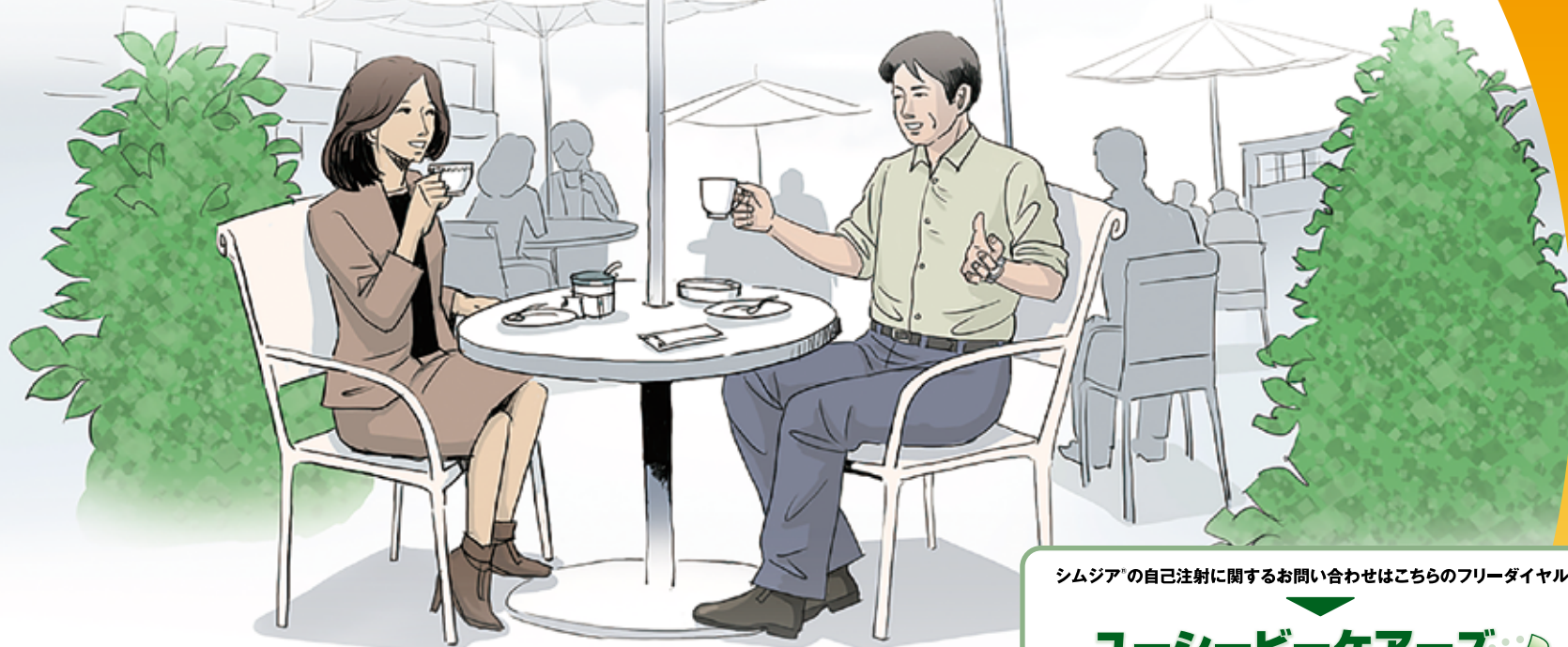


シムジア®による乾癬*治療を受けられる方へ

自己注射ガイドブック

乾癬版



左記二次元コードより、自己注射に関する情報を閲覧できます
(動画もご用意しています)

psoriasis-cimzia.jp

*シムジア®の適応症は、尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症の4つです。

シムジア®の自己注射に関するお問い合わせはこちらのフリーダイヤルへ

ユーシービーケアーズ
コンタクトセンター

0120-093-189

受付時間 9:00～17:30 (土日・祝日・会社休日を除く)

シムジア®の自己注射をはじめられる患者さんへ

シムジア®は、患者さんの生活スタイルや体の状態を考慮し、簡単に自己注射を行っていただけるように工夫がされています。

シムジア®は皮下に注射するお薬で、「オートクリックス®」と「シリンジ」の2種類のタイプがあります。

本ガイドブックでは、患者さんまたは患者さんのご家族が、シムジア®を安全に正しく自己注射するための手順とポイントを解説しています。

本ガイドブックを読んでわからないことがある場合は、主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

❗ 重要な注意事項

自己注射とは、患者さんご自身またはご家族の方によって行われる注射のことです。自己注射を安全に正しく行うためには、実際に注射される方が、主治医から十分な説明を受けた後に、主治医、看護師または薬剤師による指導のもと、注射方法を練習する必要があります。

自己注射を開始するには、主治医の判断が必要です。そして、シムジア®投与中は必ず注意事項を守りましょう。

目次



シムジア®について	4
自己注射を安全に正しく行うために大切なこと	6
保管方法	8
注射部位	9
注射準備	10

オートクリックス®

オートクリックス®について	12
キャップの外し方	13
お腹に注射する場合	14
太ももに注射する場合	17
ご家族の方が注射をされる場合	18
後片付け	20

シリンジ

シリンジについて	22
キャップの外し方	23
お腹に注射する場合	24
太ももに注射する場合	27
ご家族の方が注射をされる場合	28
後片付け	30

Q&A	32
-----------	----

シムジア®について

【シムジア®の剤形】

シムジア®は、オートクリックス®とシリンジの2つの剤形をもつ薬です。
それぞれ特徴が異なり、患者さんの状態や希望に合わせて選択されます。

オートクリックス®



詳細はP.12参照

シリンジ



詳細はP.22参照

【自己注射開始までのステップ】

自己注射の開始は、次のステップに従って行います。

通院での
シムジア®の投与

主治医による
自己注射に
ついての説明

主治医
(看護師または薬剤師)
の指導のもと
注射方法を練習

自己注射手技を習得

主治医の判断により
自己注射開始

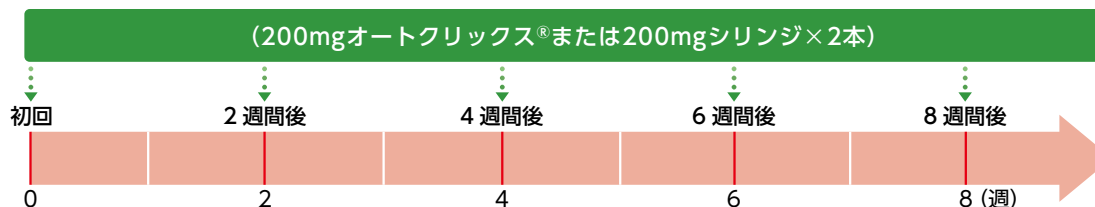
- 練習期間や回数は患者さんによって異なります。
- この間は、通院しながら主治医、看護師または薬剤師と一緒にシムジア®を自己注射します。
- 自己注射の開始は主治医が判断します。

【シムジア®の投与スケジュール】

1回400mgを2週間の間隔で皮下注射します。

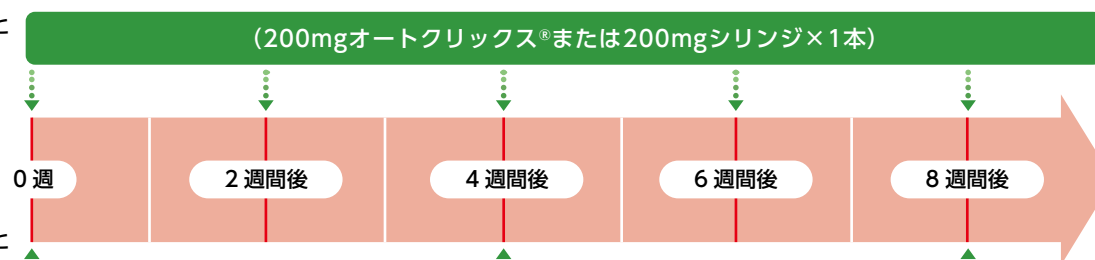
治療を継続して症状が安定したら、患者さんによっては、200mgを2週間ごと、もしくは400mgを4週間ごとのスケジュールに変更となることもあります。

【通常】



【症状安定後】

▶ 200mgを2週間ごとに投与する場合



▶ 400mgを4週間ごとに投与する場合



- 前回とは違う箇所に注射してください。
- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 乾癬の症状が安定した後の投与スケジュールについては、患者さんの症状や希望を考慮し、医師と患者さんとの相談のうえ決まります。
- オートクリックス®とシリンジの投与スケジュールは同じです。

自己注射を安全に正しく行うために大切なこと

- 自己注射を安全に正しく行うためには、実際に注射される方が、主治医から十分な説明を受けた後に、主治医、看護師または薬剤師による指導のもと、注射方法を練習する必要があります。
- 自己注射を開始するには、主治医の判断が必要です。
- いったん自己注射を開始しても、次のような場合には、途中で通院注射に切り替わる場合があります。

患者さんが通院注射への変更を希望した場合

主治医が通院注射が望ましいと判断した場合

- 患者さんもしくはご家族の方が自己注射を適切に行えないなど、主治医が自己注射の練習が再度必要と判断した場合には、通院注射に切り替え、再度、主治医、看護師または薬剤師の指導のもと練習を受けていただくことがあります。
- 自己注射がうまく行えない場合や、わからないことがある場合は、必ず主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

シムジア®の自己注射に関するお問い合わせはこちらのフリーダイヤルへ

**ユーシービーケアーズ
コンタクトセンター**

0120-093-189

受付時間 9:00～17:30(土日・祝日・会社休日を除く)

シムジア®の投与中に次のような症状があらわれた場合は、すみやかに主治医、看護師または薬剤師に相談してください

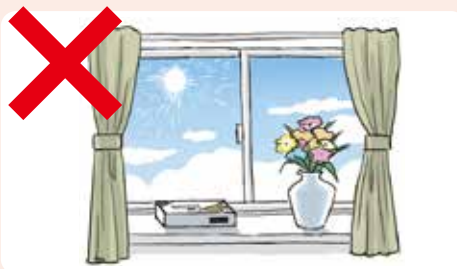
- ！ 鼻水、くしゃみ、鼻づまり、頭痛、寒け、食欲がない
- ！ 全身がだるい、皮膚や白目が黄みがかっている
- ！ のどが赤い、のどの腫れ、のどの痛み
- ！ 痛みを伴う発疹
- ！ 発熱、震え、発汗
- ！ せき、痰、息苦しさ
- ！ 体重が減った
- ！ 視力の低下、物が二重に見える、眼球が震える、目の痛みなどの目の症状
- ！ 注射部位の異常（赤み、腫れ、痛み、かゆみ、出血）



このほか気になる症状があらわれた場合には、診察日を待たずにすぐに相談してください。

保管方法

- シムジア®は病院、薬局から帰宅後速やかに箱のまま（遮光を保つため、破損を防ぐため）、必ず冷蔵庫（2℃～8℃）で保管してください。
- 冷凍室に保管して凍結させないでください。凍結の恐れがあるので、チルド室や冷気の吹き出し口の近くにおかないようにしてください。
- 直射日光に当たる場所や高温多湿の場所におかないようにしてください。



外出時や病院からの運搬時には、保冷バッグを使用し、冷蔵保存してください。



子どもの手の届かない場所に保管してください。

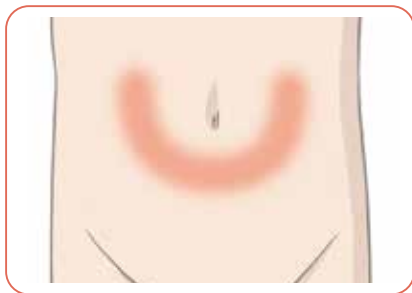


※ご家族にお薬（注射器）であることを説明しておいてください。

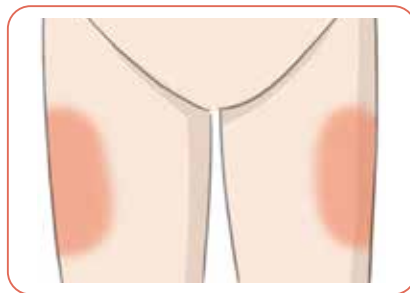
注射部位

注射する部位は主治医、看護師または薬剤師に確認して進めてください。

- オートクリックス®とシリンジの注射部位は同じです。
- 患者さんご自身で注射される場合は、お腹か太ももに皮下注射してください。
- ご家族の方が注射される場合は、二の腕にも注射できます。
- 前回とは違う箇所注射してください。
- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。
- 皮膚症状（赤み、発疹、フケのようにポロポロと剥がれ落ちる状態、皮膚が少し盛り上がっている、硬くなっている など）やケガ、痛みがある箇所は避けてください。
- 毎回、注射した箇所を「投薬手帳」に記録しましょう。
- アルコール綿にかぶれる場合は、主治医、看護師または薬剤師に伝えてください。

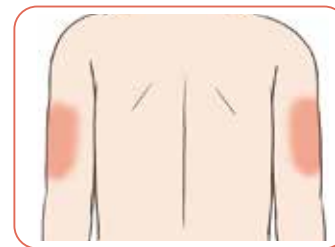


お 腹



太もも

ご家族の方が注射される場合



二の腕

おへその周囲（約5cm）は避けてください。

注射準備

以下のステップで注射準備をします。

1

シムジア®を箱のまま冷蔵庫から取り出して、室温に戻します(30分程度が目安です)。

薬液が冷たいと痛みを感じることがあります。



- ・電子レンジや湯せんなどで温めない。
- ・お薬が凍結していたもの(解凍した場合も含む)は使用しない。
- ・長時間放置しない。

2

明るく、平らな場所を確保し、テーブルの上を清潔にしておきます。



3

手を石鹸で十分に洗います。



4

注射器を箱から取り出します。
オートクリックス®



- ・注射する直前までキャップは外さない。
- ・再度キャップはしない。
誤って注入が開始する恐れがある。

シリンジ

注射筒を持って
取り出してください。



- ・注射する直前までキャップは外さない。
- ・再度キャップはしない。
針が曲がる恐れ、針刺しの恐れがある。

5

注射器と薬液について、次のポイントを確認します。

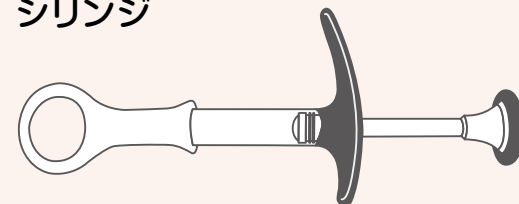
- 注射器が破損していないか
- 注射液の中に明らかな粒子はないか
- 注射液が変色していないか
(注射液は本来、透明、わずかな黄色、または乳白色の
ような色です)

万一、異常が見つかった場合、注射をする前に主治医、看護師
または薬剤師に必ず連絡してください。

オートクリックス®



シリンジ



❗ 注射当日に体調の悪い場合は、注射前に主治医に相談してください。

オートクリックス®について

【オートクリックス®の特徴】

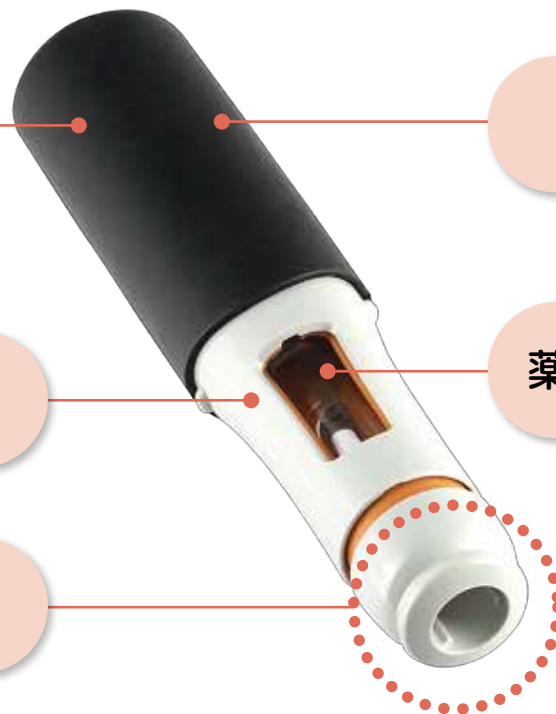
滑りにくいグリップ

ボタン操作が不要

注入の開始時と終了時の
確認音「カチッ」

薬液がみえる大きな窓

大きく設計された接地面※



オートクリックス®は、ひとつの箱に1本ずつ入っており、1回使い切りです。

※接地面：注射部位と接触する面

キャップの外し方

- 注射直前までキャップを外さないでください。
 - 安全・清潔にキャップを外します。キャップを外したら、なるべく早く注射してください。
- オートクリックス®を横に向け、左右に真っ直ぐに引っ張ります。

！ 注意

キャップを外す際には以下の点に気をつけてください。



一度外したら、再度キャップをしない



キャップをひねらない

薬液が出なくなったり、薬液が漏れてしまうことがあります。



【その他の キャップの外し方】

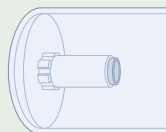
グリップをおさえ、
キャップを
真っ直ぐ引っ張る



テーブルなどの上におく

針保護カバー

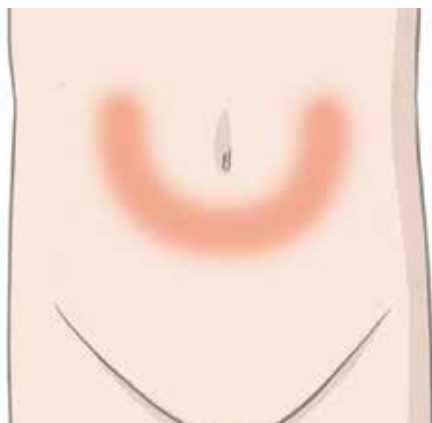
オートクリックス®のキャップ
には針を保護するカバーが
ついています。



お腹に注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



おへその周囲(約5cm)は避けてください。

【注射方法】

- 前回とは違う箇所注射してください。
- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

1

注射部位(皮膚)をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。

消毒した場所は、注射するまで何も触れないようにしてください。



2

安全・清潔にキャップを外す

オートクリックス®を横に向け、左右に真っ直ぐに引っ張ります。

キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

詳しくはP.13参照

3

オートクリックス®は「カチッ」という確認音が2回鳴ります。

1回目は注入開始の「カチッ」、2回目は注入終了の「カチッ」

当てる



注射部位に対して90度の角度で当てます。

押し込む



「カチッ」と鳴るまで押し込みます。ロックが解除され、自動的に針が出て、薬液の注入が始まります。

待つ



2回目の「カチッ」が鳴ると注入が終わり、針は自動的に格納されます。注入が終わったら、離します。

2回目の確認音が鳴るまで体から離さないでください。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

※皮膚の状態に合わせて、注射器の接地面と皮膚が平らになるように皮膚をのばしたり、つまんだりしてください。

CHECK



その他の注射方法は
P.16参照

Devices designed
in partnership with



GOODGRIPS®

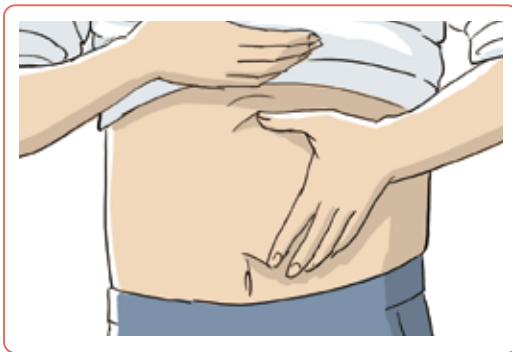
CHECK



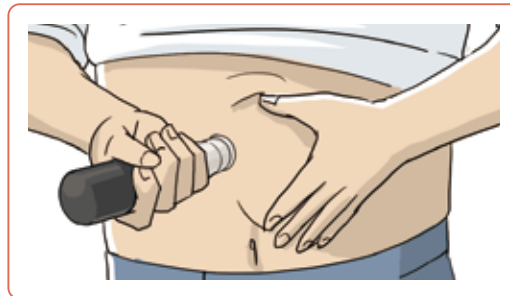
【その他の注射方法】

注射方法は、医師、看護師に皮膚の状態をみてもらい、皮膚の状態に合わせて、のぼしたり、つまんだりしながら打ちましょう。

のぼして打つ

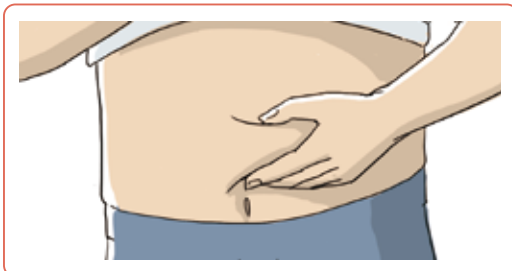


立って打つ



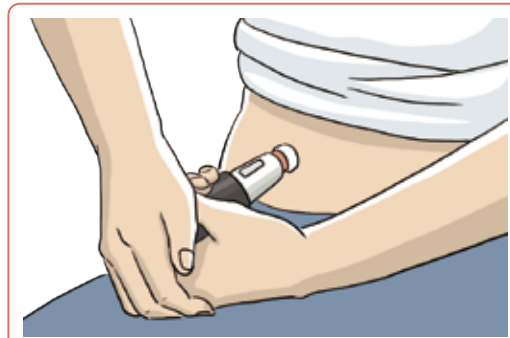
立って打つことにより、お腹に張りができ打ちやすくなります。

つまんで打つ



皮下脂肪が少ない方（注射部位をつまんだとき、指と指の幅が2cm以上ない場合）は、注射部位をつまんでください。

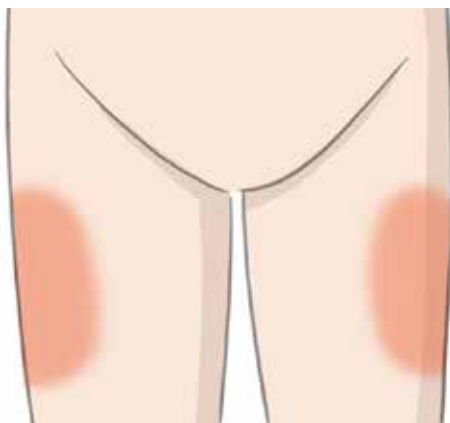
両手で打つ



太ももに注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



膝の上から5cm、足の付け根から5cmの部分は避けてください。

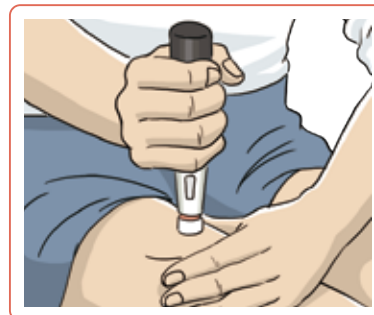
お腹に注射する場合 (P.14参照)

【注射方法】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。
- 注射部位に対して**90度**の角度で当てます。
 - ・前回とは違う箇所に注射してください。
 - ・一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。



つまんで打つ



皮下脂肪が少ない方（注射部位をつまんだとき、指と指の幅が2cm以上ない場合）は、注射部位をつまんでください。

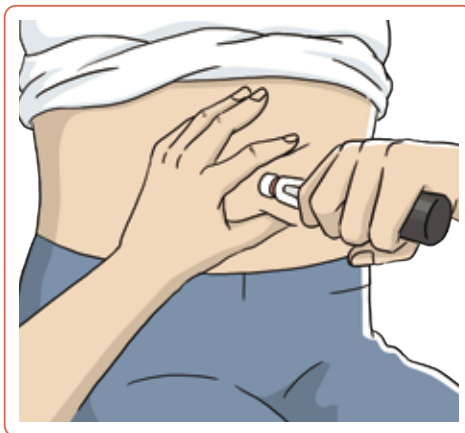
ご家族の方が注射をされる場合

ご家族の方が注射をする場合も、
注射方法の指導を必ず受けてください。

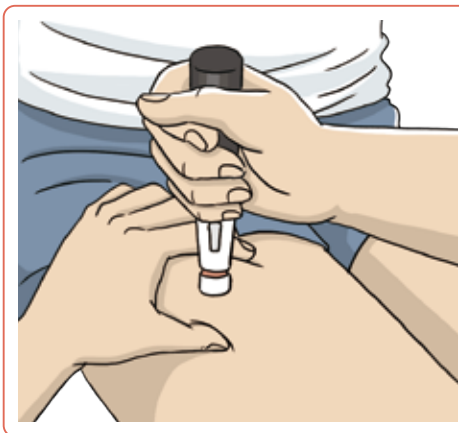
【注射部位・注射方法】

- 注射部位に対して**90度**の角度で当てます。
- お薬を持つ手と反対の手で皮膚をしっかりとつまんでください。
 - ・前回とは違う箇所に注射してください。
 - ・一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

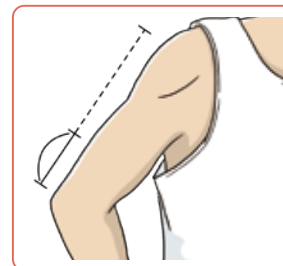
お腹



太もも



二の腕



- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。
または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 二の腕後ろ側に注射します。

【注射方法（二の腕の場合）】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
 - 安全・清潔にキャップを外します。
- オートクリックス®は「カチッ」という確認音が2回鳴ります。
 1回目は注入開始の「カチッ」、2回目は注入終了の「カチッ」

当てる



注射部位に対して90度の角度で当てます。

押し込む



「カチッ」と鳴るまで押し込みます。ロックが解除され、自動的に針が出て、薬液の注入が始まります。

待つ



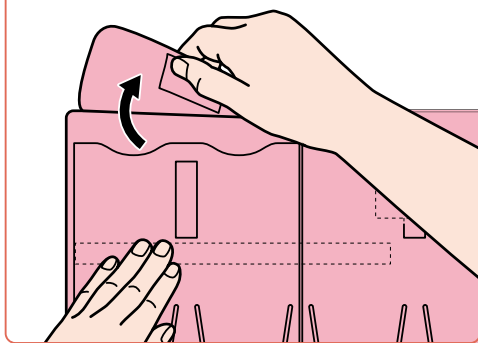
2回目の「カチッ」が鳴ると注入が終わり、針は自動的に格納されます。注入が終わったら、離します。
 2回目の確認音が鳴るまで体から離さないでください。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。
 注射箇所をもまないでください。

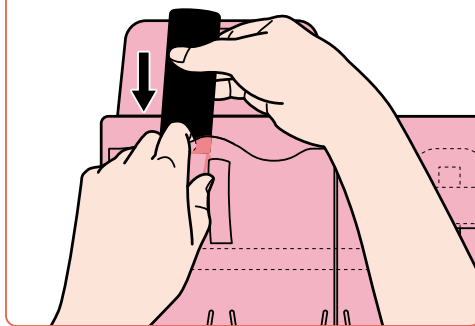
後片付け

1 開ける



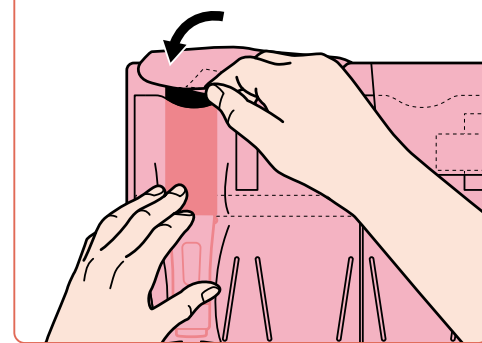
フタを開けてください。

2 入れる



使用済みオートクリックス®をケースに入れてください。

3 閉じる

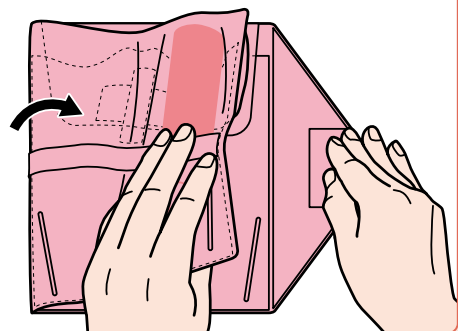


フタを閉じてください。
面ファスナーが張り付いているか確認してください。

- 注射後は、オートクリックス®に再度キャップをしないでください。
 - アルコール綿は、特に指示のない限り、家庭ごみとして捨ててください。
 - キャップは、家庭ごみとして捨てるのが可能です。
 - 使用済みオートクリックス®はシムジア®オートクリックス®専用廃棄袋に入れるなど、医療施設から指示された方法で捨ててください。
- *使用済みオートクリックス®の入った廃棄袋は、家庭ごみとして捨てないでください。
使用済みオートクリックス®の入った廃棄袋は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

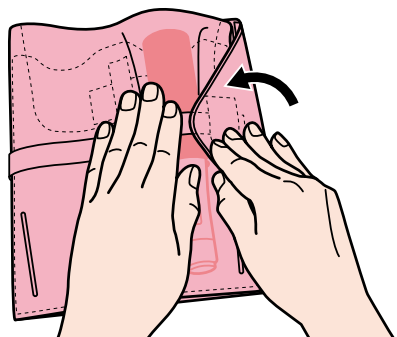


4 折りたたむ



折りたたんでください。
※①側からクルクルと巻くことも可能です。

5 留める



面ファスナーで留めてください。



記録をつけましょう

シムジア®の注射をはじめた日から、記録をつけましょう。
体調管理や副作用の早期発見に役立ちます。

通院時には投薬手帳を持参し、必ず主治医に見せてください。

*「投薬手帳」をご活用ください。



シリンジについて

【シリンジの特徴】



シリンジは、ひとつの箱に1本ずつ入っており、1回使い切りです。

キャップの外し方

- 安全・清潔にキャップを外します。キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

シリンジを横に向け、真っ直ぐに丸い輪のキャップを引っ張ります。



【その他のキャップの外し方】



キャップ全体を握ってキャップを外す



キャップをおさえ、シリンジを引っ張る
テーブルなどの上に手をおく

！ 注意

キャップを外す際には以下の点に気をつけ、注射針に触れない、曲げないようにしてください。



キャップが
注射針に触れない
ようにする



ピストン棒を
引っ張らない



ピストン棒を
押さない



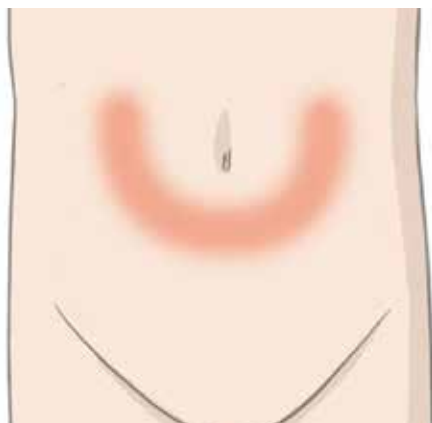
反動で
戻らないように
する

安全に外せるよう、使いやすいほうの手でキャップを外してください。 ※設計上、お子様には外しにくいキャップになっています。

お腹に注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



おへその周囲(約5cm)は避けてください。

【注射方法】

- 前回とは違う箇所注射してください。
- 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

1

注射部位(皮膚)をアルコール綿で消毒

中心から外側に向かって円を描くように拭き、よく乾燥させます。

消毒した場所は、注射するまで何も触れないようにしてください。



2

安全・清潔にキャップを外す

シリンジを横に向け、真っ直ぐに丸い輪のキャップを引っ張ります。

キャップを外したら、なるべく早く注射してください。

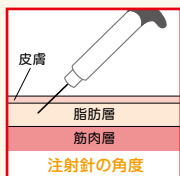
詳しくはP.23参照

気泡抜きは必ずしも行う必要はありません。

3



注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。

注射針の角度は30～60度です。



ゆっくりと薬液を注入します（ピストン棒を最後まで押しきってください）。



薬液を全部注入したら、同じ角度で注射針を抜きます。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

CHECK



その他の注射方法はP.26参照

CHECK



【その他の注射方法】

えんぴつ持ちをして刺す



グリップを握って刺す



注射器全体を握って刺す



CHECK



【注入方法】

人差し指でパッドを押す



手のひら全体でパッドを押す



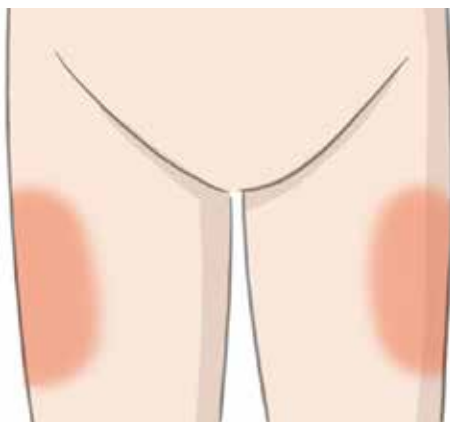
グリップ全体をつかみ握るようにパッドを押す



太ももに注射する場合

【注射部位】

イスなどに座って、リラックスした姿勢をとりましょう。



膝の上から5cm、足の付け根から5cmの部分は避けてください。

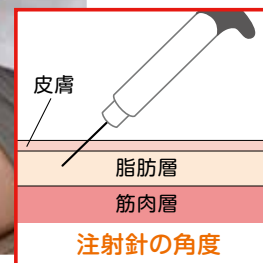
お腹に注射する場合 (P.24参照)

【注射方法】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。
- 注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。
 - ・前回とは違う箇所に注射してください。
 - ・一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。



注射針の角度は30～60度です。

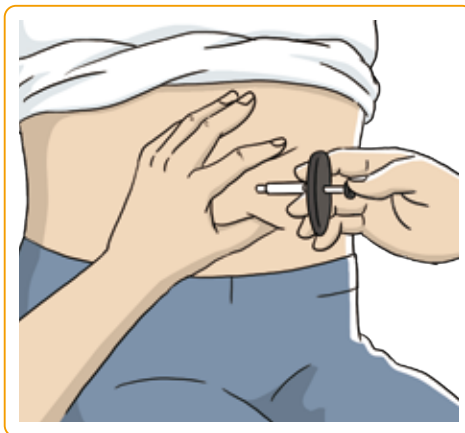
ご家族の方が注射をされる場合

ご家族の方が注射をする場合も、
注射方法の指導を必ず受けてください。

【注射部位・注射方法】

- 注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。
- お薬を持つ手と反対の手で皮膚をしっかりとつまんでください。
 - ・ 前回とは違う箇所に注射してください。
 - ・ 一度に2本注射する場合は、1本目と2本目の注射箇所は少なくとも3cm離してください。

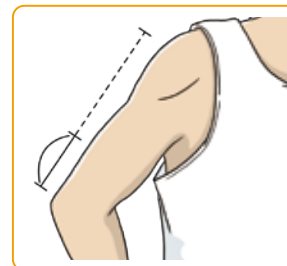
お腹



太もも



二の腕



- 腕を直角に曲げて、もう片方の手で支えます。
または腰に手を当てて腕を安定させます。
- 肩の先から肘の先を3等分し、肘側から1/3あたりが注射部位です。
- 二の腕後ろ側に注射します。

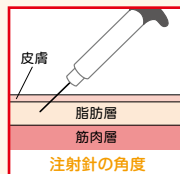
【注射方法（二の腕の場合）】

- 注射部位（皮膚）をアルコール綿で消毒します。
- 安全・清潔にキャップを外します。

気泡抜きは必ずしも行う必要はありません。



注射部位の皮膚を親指と人差し指で3cm程度つまんで、注射針を斜めに素早く刺します。



注射器を刺す角度は医師、看護師にご確認ください。

注射針の角度は30～60度です。



ゆっくりと薬液を注入します（ピストン棒を最後まで押しきってください）。



薬液を全部注入したら、同じ角度で注射針を抜きます。



アルコール綿で注射箇所を10秒ほど軽くおさえます。止血の確認を行い、注射は終了です。

注射箇所をもまないでください。

後片付け

- 注射後は、シリンジに再度キャップをしないでください。
- アルコール綿は、特に指示のない限り、家庭ごみとして捨ててください。
- キャップは、家庭ごみとして捨てることが可能です。
- 使用済み注射器はシムジア®シリンジ専用廃棄容器に入れるなど、医療施設から指示された方法で捨ててください。

*使用済み注射器の入った廃棄容器は、家庭ごみとして捨てないでください。

使用済み注射器の入った廃棄容器は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。



記録をつけましょう

シムジア®の注射をはじめた日から、
記録をつけましょう。
体調管理や副作用の早期発見に役立ちます。
通院時には投薬手帳を持参し、
必ず主治医に見せてください。

*「投薬手帳」をご活用ください。



Q&A

【シムジア®全般について】

Q シムジア®を注射する時間はいつがいいですか？

A. 注射は1日のうちいつ行っても構いません。ただし、忘れないように毎回同じ時間に決めておいたほうが良いでしょう。主治医と相談してください。

Q シムジア®を注射し忘れた場合はどうしたら良いですか？

A. 主治医に連絡をとり、指示を受けてください。

Q シムジア®の注射予定日に注射することができない場合、どうしたら良いですか？

A. あらかじめ旅行など注射をするのが難しいことがわかっている場合は、主治医に相談し、指示を受けてください。

Q 注射する部位はどのように決めたら良いですか？もしくは、毎回同じ箇所に針を刺しても良いですか？

A. 皮膚症状（赤み、発疹、フケのようにポロポロと剥がれ落ちる状態、皮膚が少し盛り上がっている、硬くなっている など）やケガ、痛みがある箇所は避けてください。また、前回とは違う箇所に注射してください。自己注射の指導を受ける際に医師、看護師に皮膚の状態をみてもらいご相談ください。

Q シムジア®はなぜ室温に戻す必要があるのですか？

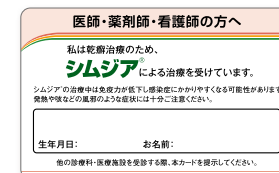
A. 薬液が冷たいと痛みを感じやすくなるためです。また、シムジア®の薬液は粘稠度が高いため、シリンジを使用する場合、薬液が冷たいままの状態では内筒が押しにくい場合があります。

Q OXO Good Grips (オクソー グッドグリップス) って何ですか？

A. OXO社は、日々の生活をより快適にするという理念のもとに、米国で設立された会社です。今から25年以上前、OXO社の創業者は関節炎を患っている妻が、調理でピーラーを使用する際に苦労していることに気づき、どのような方であっても、快適に使用できる調理器具の開発を始めました。その後、徹底したリサーチ、数百回にも及ぶ試作・設計の繰り返しを経て、1990年、OXOの象徴であるピーラーを含む15種類のOXO Good Grips®キッチンツールが米国市場に初めて導入されました。現在OXOには、生活を便利にする2,000種類以上の製品があり、その全てが、思いやりのあるデザイン、革新的な機能及び快適さ、信頼性を持ち合わせています。シムジア®のデバイス（注射器）はOXO社と共同開発された人間工学に基づいたユニバーサルデザインで、「使いやすさ」「機能性」「滑りにくさ」を追求した製品です。

Q 災害に備えるために、どのような対策をすると良いですか？

A. ●医師と相談し、余分に持っておくことも検討しましょう。
●病名、合併症、服用中の薬剤名を把握しておきましょう。
治療歴や病状を伝えられるもの（投薬手帳や投薬提示カード）を携帯しておくように心がけましょう。
お薬のメモをお財布に入れたり、携帯電話で写真を撮っておくことも、もしものときに役に立ちます。
●停電に備えておきましょう。
シムジア®などの冷蔵保存が必要な薬剤の保管に備えて、保冷剤を凍らせておくようにしましょう。ただし、シムジア®を冷凍庫に入れたり、凍らせたりしないようにしてください。



Q&A

【オートクリックス®をご使用の方へ】

Q オートクリックス®が押せない（動かない）場合はどうしたら良いですか？

A. オートクリックス®を箱に戻して、主治医、看護師または薬剤師に連絡してください。

Q 体に当てる前にオートクリックス®を押してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. 誤ってオートクリックス®が作動した場合、針が出て終了するまで薬剤が流出します。針に注意し、薬液の流れを中断しないようにしてください。薬液の流出が終了すると、針は自動的に格納されますので、使用済み廃棄袋に保管し、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注入が終わる前に体から離してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. 針が出ていますので、刺しなおしや薬液を止めようとするなどはせず、薬液の流出が終わるまでそのままにしてください。注射を繰り返すことはせず、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注射針は見えないのですか？

A. オートクリックス®は1回目の「カチッ」で針が出て、2回目の「カチッ」で針が自動的に格納されるため、目に触れることはありません。注射の流れにおいて、目や手に触れることがないので、安全に注射が行えます。

Q 注射の痛みを和らげる方法がありますか？

A. 注射の痛みを和らげる方法はいくつかあります。ご自分に合う方法を工夫してみてください。

- 薬液が冷たいと一般的に痛みを感じるがあるので、必ず室温に戻してから注射してください。
- 注射する箇所の感覚を鈍くするために、注射部位を1～2分ほど保冷剤などで冷やしてください。冷やした後、消毒してください。また、注射部位を注射前に温めることで痛みが和らぐこともあります。
- 皮下脂肪が厚い、ふくよかな部位に注射してください。

Q&A

【シリンジをご使用の方へ】

Q シムジア®の注射器の内筒（大きなパッド）が押しにくい場合はどうしたら良いですか？

A. 薬液が冷たいと内筒が押しにくい場合があるので、必ず室温に戻してください。シムジア®の薬液はPEG化^{ベグ}を施しており粘稠度が高くなっています。詳細は別冊子の「シムジア®による乾癬治療を受けられる方へ」P.9をご参照ください。

Q シムジア®の注射針を、誤って指に刺してしまった場合はどうしたら良いですか？

A. その注射器を再び刺すのはやめてください。注射器に残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注射の途中で、皮膚から針が抜けてしまった場合はどうしたら良いですか？

A. その注射器を再び刺すのはやめてください。注射器に残っている薬液の残量を確認し、主治医に連絡をとり、相談してください。

Q 注射の痛みを和らげる方法がありますか？

- A.** 注射の痛みを和らげる方法はいくつかあります。ご自分に合う方法を工夫してみてください。
- 薬液が冷たいと一般的に痛みを感じるがあるので、必ず室温に戻してから注射してください。
 - 注射する箇所の感覚を鈍くするために、注射部位を1～2分ほど保冷剤などで冷やしてください。冷やした後、消毒してください。また、注射部位を注射前に温めることで痛みが和らぐこともあります。
 - 注射針を刺すときに時間をかけると痛みを感じやすいので、注射針は素早く刺してください。
 - 薬液を急速に注入すると痛みを感じやすいので、薬液はゆっくり、時間をかけて注入してください。
 - 皮下脂肪が厚い、ふくよかな部位に注射してください。

〈緊急時の連絡先〉

Devices designed
in partnership with



GOOD GRIPS®

CIMZIA®はUCB PHARMA S.A., Belgiumの登録商標です。
OXO, GOOD GRIPSはHelen of Troy社の登録商標であり、同社よりライセンスされて使用しています。

ユーシービージャパン株式会社

2025年4月作成
JP-CZ-2400262_2